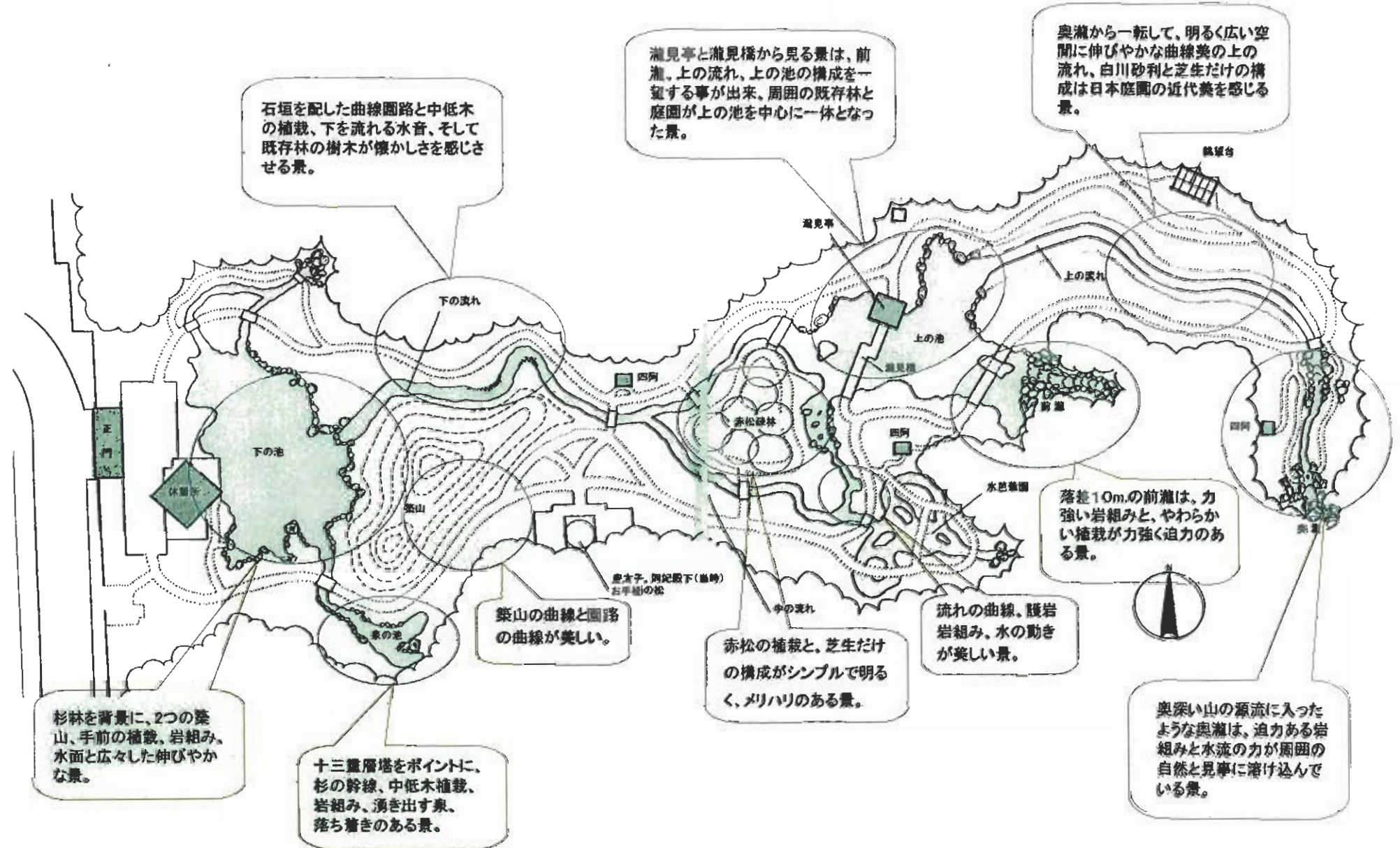


# 水心苑景觀ポイント



石垣を配した曲線園路と中低木の植栽、下を流れる水音、そして既存林の樹木が懐かしさを感じさせる景。

瀧見亭と瀧見橋から見る景は、前池、上の流れ、上の池の構成を一望する事が出来、周囲の既存林と庭園が上の池を中心に一体となった景。

奥瀧から一転して、明るく広い空間に伸びやかな曲線美の上の流れ、白川砂利と芝生だけの構成は日本庭園の近代美を感じる景。

落差10mの前瀧は、力強い岩組みと、やわらかい植栽が力強く迫力のある景。



奥深い山の源流に入ったような奥瀧は、迫力ある岩組みと水流の力が周囲の自然と見事に溶け込んでいる景。

杉林を背景に、2つの築山、手前の植栽、岩組み、水面と広々した伸びやかな景。

十三重層塔をポイントに、杉の幹線、中低木植栽、岩組み、湧き出す泉、落ち着きのある景。

築山の曲線と園路の曲線が美しい。

赤松の植栽と、芝生だけの構成がシンプルで明るく、メリハリのある景。

流れの曲線、懸崖岩組み、水の動きが美しい景。

忠太子、阿比野下(當時)お平樹の松

中の流れ

水芭蕉園

赤松疎林

上の池

上の流れ

瀧見亭

観望台

正門

休息亭

下の池

築山

泉の池

四阿

四阿

四阿

奥瀧